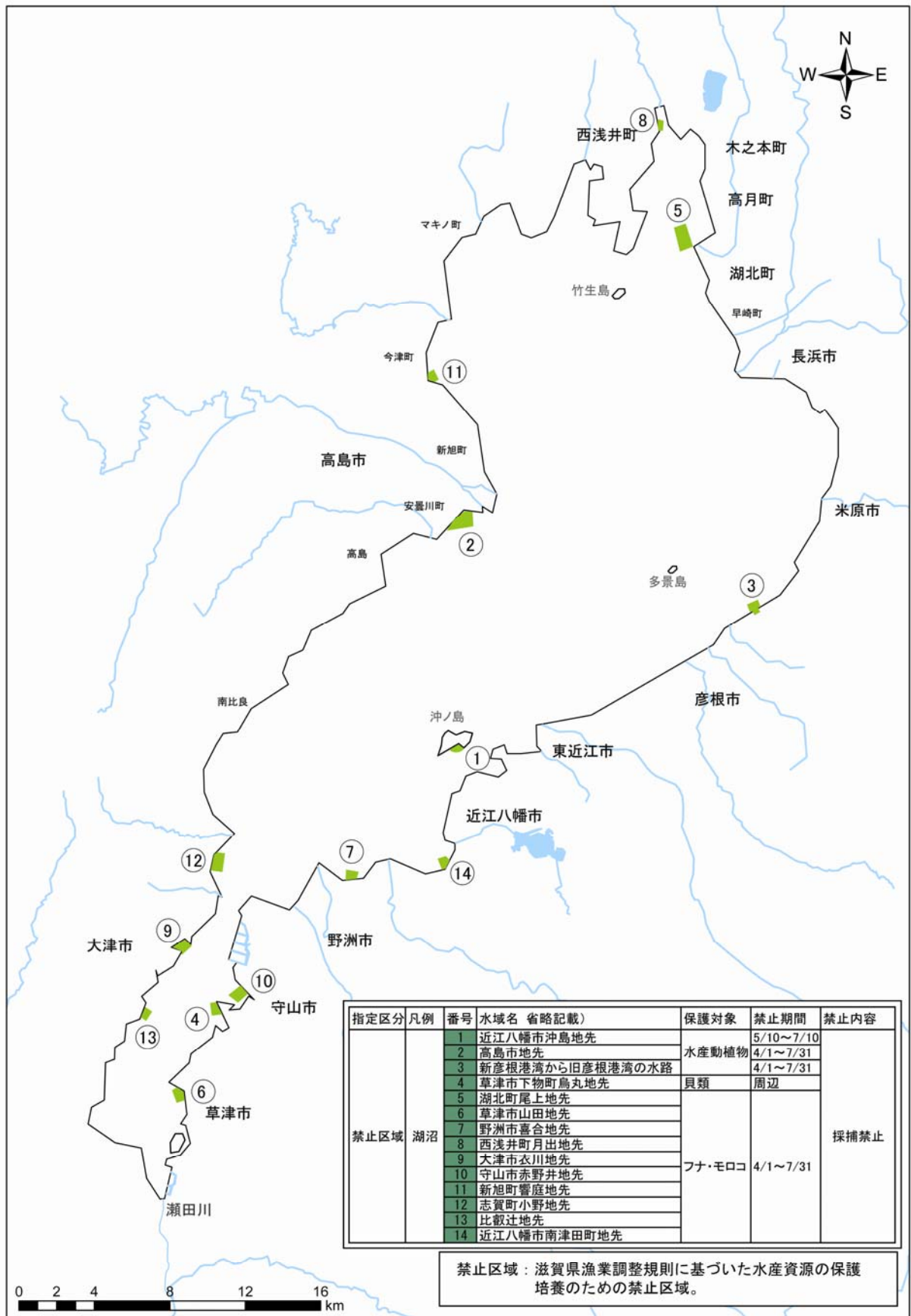


出典: 滋賀県農政水産部水産課資料

図11.15a 水産資源保護法の保護水面設定状況（琵琶湖）



出典：滋賀県農政水産部水産課資料

図11.15b 禁止区域設定状況（琵琶湖）

表11.4a 琵琶湖の保護水面（概要）

告示番号	第70号	第586号
名称	湖北町琵琶湖地先	近江八幡市牧町地先
設定年月日	平成2年1月25日	平成7年5月2日
所在地	滋賀県湖北町	滋賀県近江八幡市
保護対象	フナ(ニゴロブナ)・モロコ (ホソモロコ)	フナ(ニゴロブナ)・モロコ (ホソモロコ)
保護期間	4月1日から7月31日まで	4月1日から7月31日まで
区域	農水省告示70号記載の基点1を通る243度の線と基点2を通る209度の線との間の湖岸提西側法先から150m以内区域、湖北町延勝寺地先（通称：奥の洲）の湖岸線から20m以内区域（海老江・今西船溜、余呉川大橋周辺は除く）	農水省告示586号記載の基点1・点ア・点イ・基点2を結んだ線と湖岸線によって囲まれた水面。

表11.4b 琵琶湖の禁止区域（概要）

指定区分	凡例	水域名	区域	保護対象	禁止期間	禁止内容	備考
禁止区域	湖沼	近江八幡市沖島地先	栗谷湾内	水産動植物	5/10~7/10	採捕禁止	規則第42条
		高島市地先	高島市安曇川町四津川金丸橋から堀川橋地先		4/1~7/31		
		新彦根港湾から旧彦根港湾の水路	新彦根港湾から旧彦根港湾の水路		4/1~7/31		
		草津市下物町烏丸地先	草津市下物町烏丸地先	貝類	周年		
		湖北町尾上地先	大規模増殖場浮産卵床から20m以内	フナ・モロコ	4/1~7/31		
		草津市山田地先	大規模増殖場浮産卵床から20m以内				
		野洲市喜合地先	小規模増殖場浮産卵床から20m以内				
		西浅井町月出地先	小規模増殖場浮産卵床から20m以内				
		大津市衣川地先	小規模増殖場浮産卵床から20m以内				
		守山市赤野井地先	小規模増殖場浮産卵床から20m以内				
		新旭町響庭地先	小規模増殖場浮産卵床から20m以内				
		志賀町小野地先	小規模増殖場浮産卵床から20m以内				
		比叡辻地先	小規模増殖場浮産卵床から20m以内				
近江八幡市南津田町地先	小規模増殖場浮産卵床から20m以内						

出典：滋賀県農政水産部水産課ホームページ

禁止区域：滋賀県漁業調整規則に基づいた水産資源の保護培養のための禁止区域。

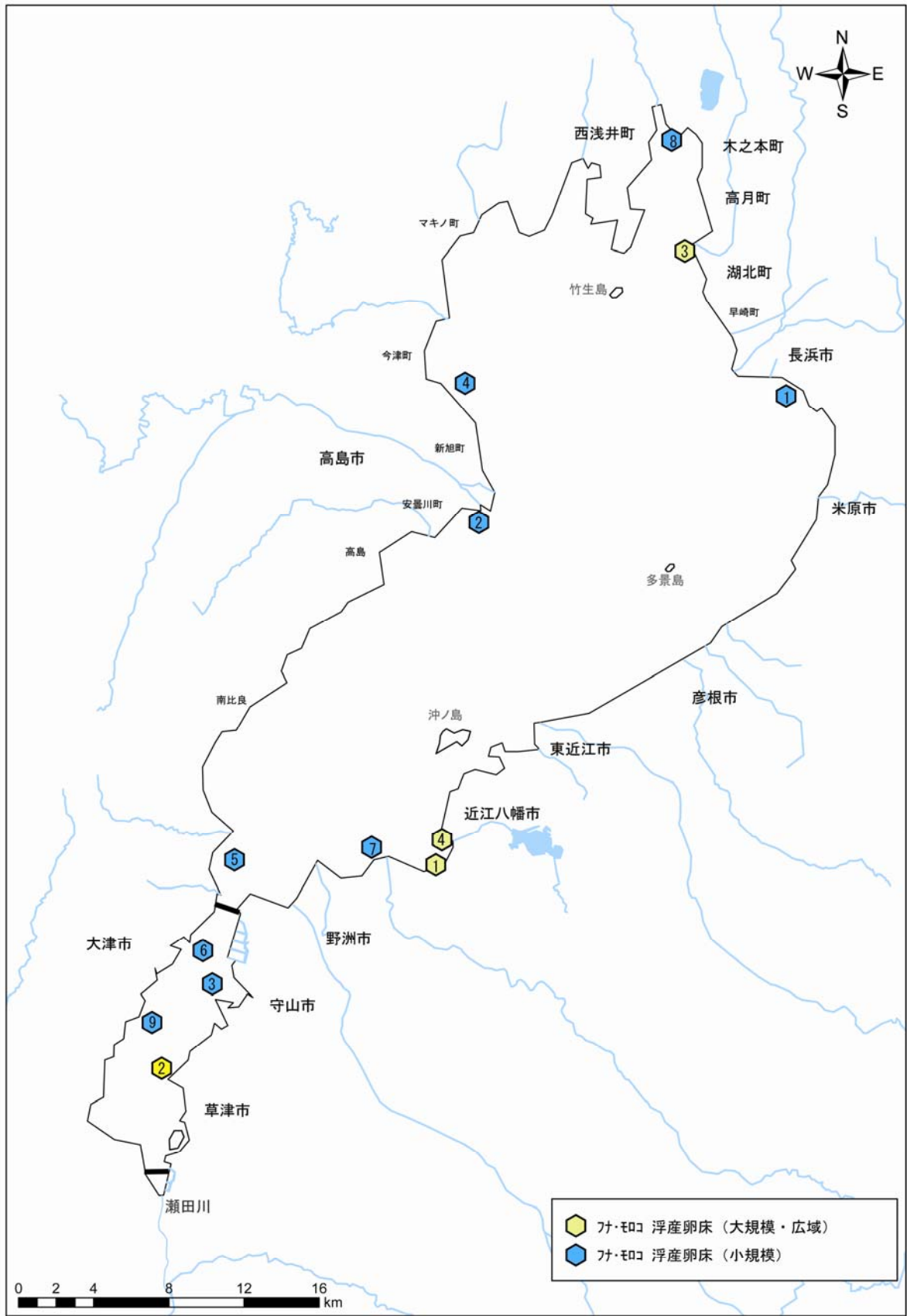


図11.16 浮産卵床設置状況 (琵琶湖)

表11.5 湖沼等における代表的な魚介類の産卵場・成育場と水深帯

分類	魚種	主に産卵場・ 成育場が湖沼・内湖・池等	主な産卵水域	産卵場										主な成育水域	成育場									
				水深m		抽水 植物	沈水植 物	流れ遅 浮き草	二枚貝	磯石	砂	泥	備考		水深m		抽水 植物*	流れ遅 浮き草	二枚貝	磯石	砂	泥	備考	
				上限	下限										上限	下限								
キュウリウオ科	ワカサギ	●	湖沼・河川(琵琶湖では河川)												海域・湖沼							海域・湖(浮遊生活)		
コイ科	オイカブ	●	緩流河川・湖岸	0.05	0.15							○	○		河川・湖	1m以下		●				○		
	タカハヤ	●	河川・湖沼									○	○		河川 瀬 淵の底み							河川 瀬 淵の底み		
	ヤチウグイ	●	池沼・たまり水				●								池沼・たまり水			●						
	ワタカ	●	湖沼・湖岸・内湖	0.3	3	●	●								内湖・入江・湖岸			●						
	ホシモロコ	●	湖沼湖岸・内湖・水路等	0.3	3	●	●	●							湖沼湖岸・内湖・水路等	0	0.5	●						
	モンゴ	●	湖・内湖				●					○			湖岸			●						
	アブラガイ	●	湖沼									○	○		湖沼							湖沼		
	ピテガイ	●	湖沼・内湖									○	○		湖沼の岩壁・砂礫地						○	○		
	ツツキ	●	湖沼・池・緩流域										○		湖沼・池・緩流域							湖沼・池・緩流域		
	ゼゼラ	●	湖沼・内湖				●	●					○		湖岸			●						
	スコモロコ	●	湖沼										○		湖沼	2	5					○	○	
	コイ	●	湖岸・入江・内湖・緩流域	0	2	●	●	●							湖岸・入江・内湖	0	0.5	●	●	●				
	キンナ	●	湖沼・浅瀬				●								湖沼・浅瀬			●						
	ニゴボナ	●	湖岸・入江・内湖	0	2	●	●	●							湖岸・入江・内湖	0	0.5	●	●	●				
	ケコウブナ	●	湖岸・入江	0	2	●	●	●							湖岸・入江・内湖	0	0.5	●	●	●				
	ヤリタゴ	●	湖沼・内湖									○			湖岸浅場			●						
	タリカバラタゴ	●	池沼・水路・緩流域									○			緩流域			●						
	コッポバラタゴ	●	止水域・静水域									○			止水域・静水域			●						
	ゼンナゴ	●	湖沼・水路									○			湖沼・水路			●						
カネヒラ	●	湖・内湖・緩流									○			内湖・入江			●							
タナゴ	●	河川中下流の緩流域・湖沼									○			河川中下流の緩流域・湖沼			●							
シロヒタビラ	●	湖沼・内湖									○			湖岸浅場			●							
アカヒタビラ	●	河川下流域・湖沼									○			河川下流域・湖沼			●							
セボシビラ	●	小河川・水路・湖沼									○			小河川・水路・湖沼			●							
ナマズ科	ナマズ	●	河川・湖・内湖				●					○		内湖・水田			●					○		
	ビワコオナマズ	●	湖沼(ヨシ等繁茂する湖岸)	0.5	0.5		●							湖沼(ヨシ等繁茂する湖岸)								○		
	イトコナマズ	●	湖沼									○		湖沼								○		
メダカ科	メダカ	●	池・水田・水路等緩流域				●							池・水田・水路等緩流域			●							
ドクオ科	イバラトミヨ	●	湿地河川・湖沼・湧水地周辺等(水草等で豊実)				●	●						湿地河川・湖沼・湧水地周辺等			●							
	ムサトミヨ	●	湧水源とする細流・池等(水草等で豊実)				●	●						湿地河川・湖沼・湧水地周辺等			●							
ドクツツ科	ベヘレイ	●	河川・湖沼の浅場				●							河川・湖沼の浅場			●							
タイワンドジョウ科	カムルチー	●	緩やかな河川・湖沼(流況等で浮き集る)				●	●						緩やかな河川・湖沼			●							
ザンファンユ科	オオクチバス	●	湖沼・緩流河川									○			湖沼・緩流河川								○	
	ブルーギル	●	湖沼・緩流河川									○			湖沼・緩流河川								○	
ハゼ科	ヨシノボリ類(トウヨシノボリ・ビワヨシノボリ)	●	湖沼・河川下流域等止水域(トウヨシノボリ・ビワヨシノボリ)	0	5							○			表層~中層を遊泳								沿岸域・湖岸域	
	ジュスカハゼ	●	河川中下流域・湖沼・池									○			河川中下流域・湖沼・池								○	
	イサザ	●	湖沼(琵琶湖北・湖西の湖岸)	0	9							○			産卵は産卵上の右下面に依存(岩・樹幹)								浮遊生活	
カジカ科	ウツセミカジカ	●	湖沼(琵琶湖)の流入河川								○	○		湖で浮遊生活								湖で浮遊生活		
テナガエビ科	スズエビ	●	湖沼・河川・沼・池・汽水域	0	2		●					○		浅場の浅場			●							
	テナガエビ(大型)	●	湖沼等	0	2		●					○		浅場の浅場			●							
イシガイ科	イケチウガイ	●	湖沼・内湖	2	10							○	○		湖底	2	10						○	○
	カラスガイ	●	湖沼・内湖	0	10							○	○		湖底	0	10						○	○
シジミ科	セウシジミ	●	河川・湖	2	8							○	○		川底・湖底	2	8						○	○
タニシ科	ナガタニシ	●	河川・湖	2	10							○	○		河川・湖	2	10						○	○

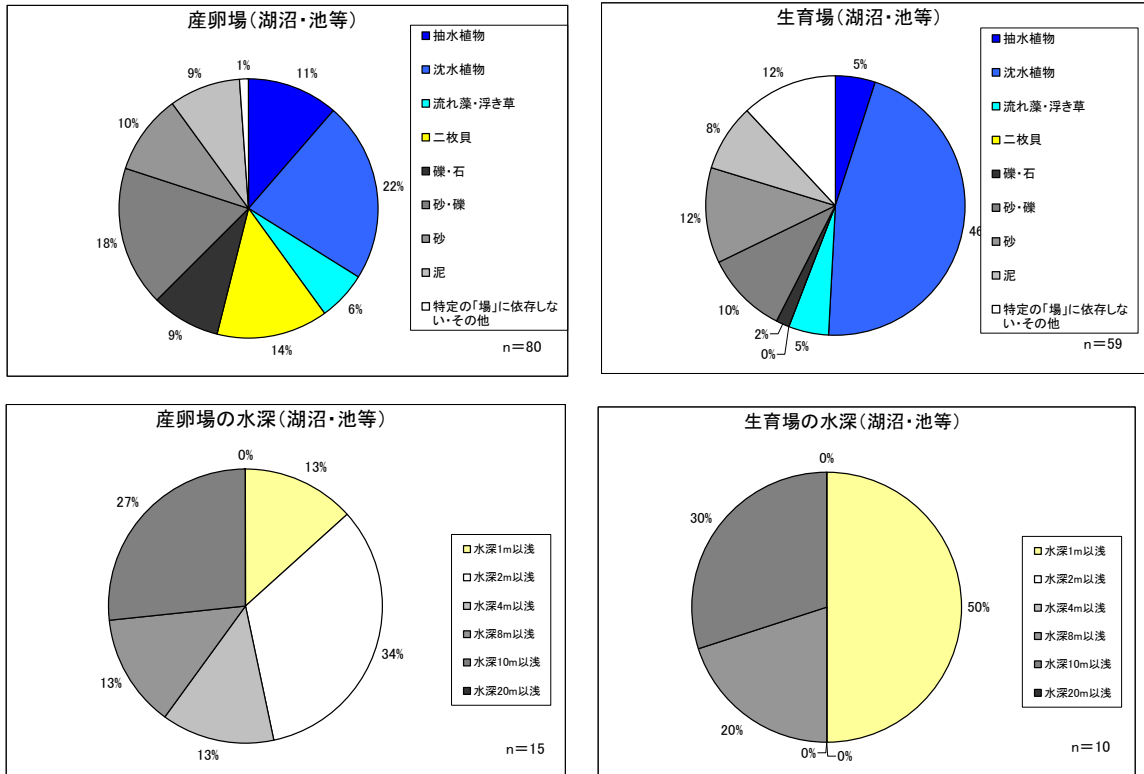


図11.17 湖沼等における代表的な魚介類の産卵場・成育場及び水深帯（琵琶湖）

表11.6 淡水性魚介類のDO条件（生長阻害とDO）

分類	種名	DO条件
キュウリウオ科	アユ	2.8～3.6mg/lで致死(1時間継続結果)。
コイ科	コイ	3.0mg/Lで摂餌低下、1.1mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、1.0mg/L未満で致死。
	ウグイ	3.7mg/Lで逃避、1.6mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、1.3mg/Lで致死。
	オイカワ	1.6mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)及び致死。
	タイリクバラタナゴ	1.6mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、0.9mg/Lで致死。
	タモロコ	1.6mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、1.5mg/Lで致死。
	イトモロコ	3.7mg/Lで逃避、1.5mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、1.0mg/Lで致死。
	カマツカ	1.1mg/l未満で致死(1時間継続結果)。
	カワムツ	1.8mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、1.3 mg/Lで致死。
	ゲンゴロウブナ	1.2mg/l未満で致死(1時間継続結果)。
	ギンブナ	0.7mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、0.6mg/Lで致死。
	ワタカ	1.4mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、0.9mg/Lで致死。
ドジョウ科	ドジョウ	1.1mg/l未満で致死(1時間継続結果)。
テナガエビ科	テナガエビ	抱卵雌個体は2.0mg/L未満、雄個体は(一定時間曝露)3.0mg/L未満で斃死。

出典:水生生物生態資料(日本水産資源保護協会,昭和56年3月)

茨城県内水面水産試験場研究報告書41(茨城県内水面水産試験場,2008)

水質事故と魚の斃死について(石田雄次等,1990)((魚類へい死事故対応手引き(福井県生活環境課,平成5年))

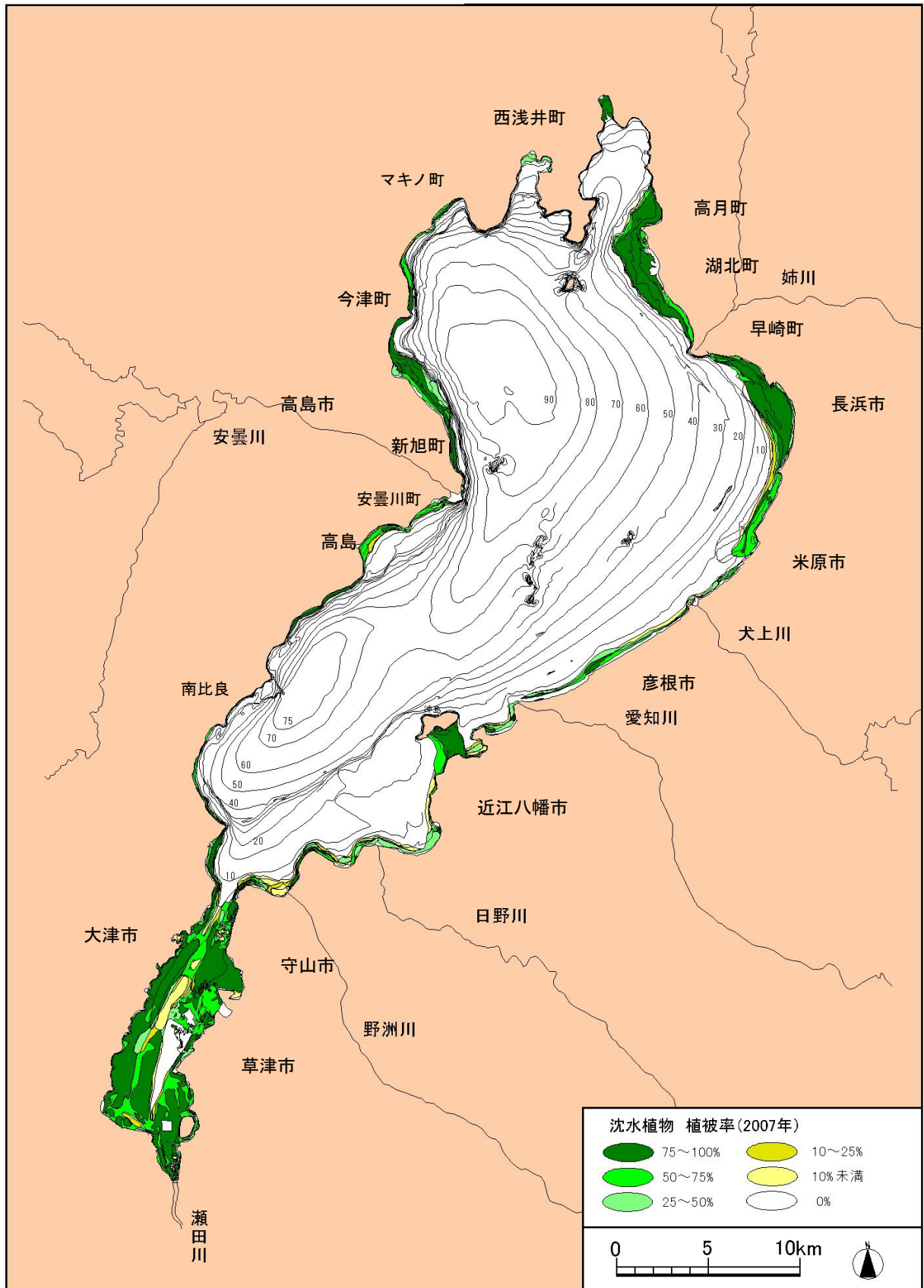


図11.18a 沈水性植物群落の水辺分布

表11.7 琵琶湖における沈水性植物群落面積

単位:ha

湖盆	群落面積				2007年/1997年	湖面積
	1997年	2002年	2007年			
北湖	3,001 (4.8%)	3,461 (5.5%)	2,903 (4.7%)	0.97	62,188	
南湖	1,699 (32.4%)	2,936 (55.9%)	3,155 (60.1%)	1.86	5,248	
琵琶湖	4,700 (7.0%)	6,397 (9.5%)	6,058 (9.0%)	1.29	67,435	

注.()内は湖面積に占める割合

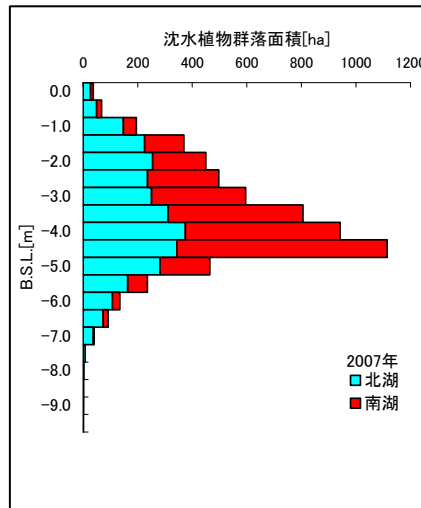


図11.18b 琵琶湖における沈水植物の鉛直方向別面積

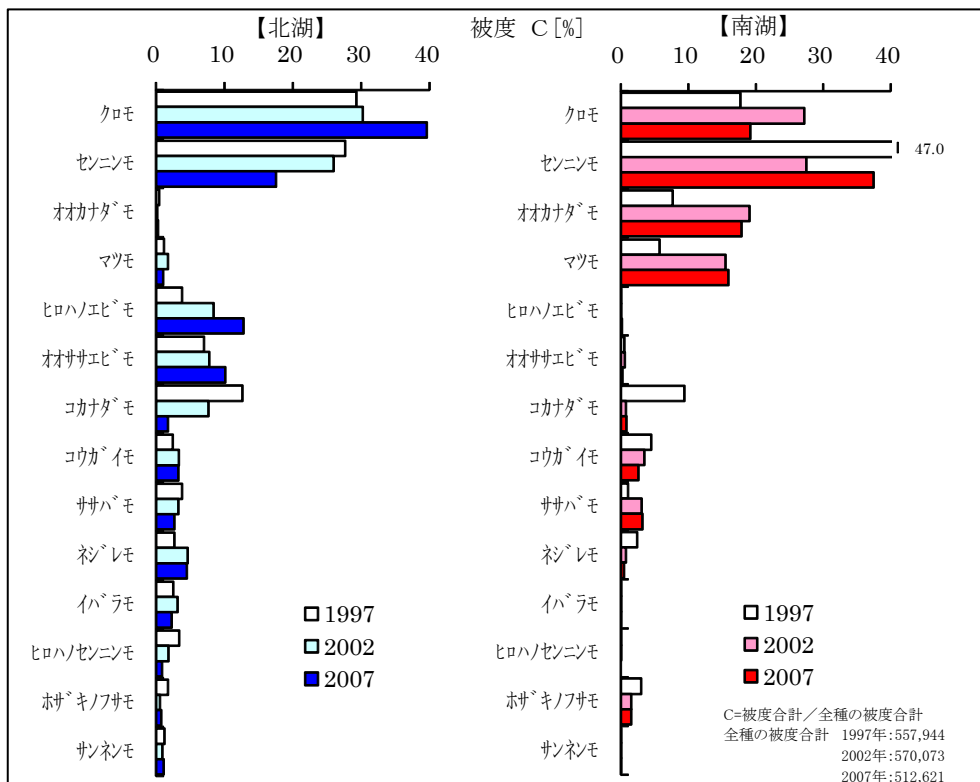


図11.18c 琵琶湖における沈水植物の被度から見た優占種と経年変化

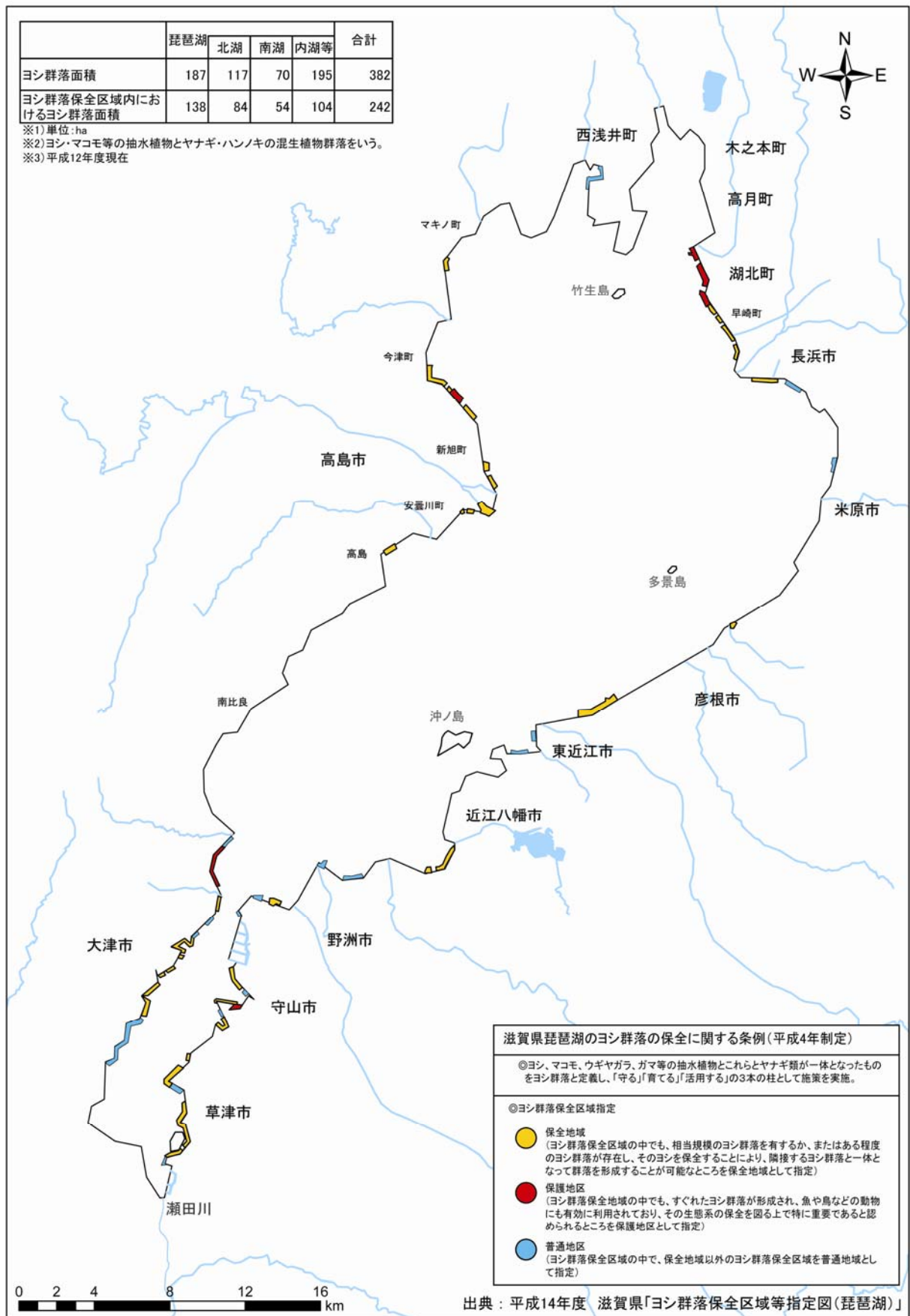


図11.19 滋賀県ヨシ群落保全区域